

第3次日野市農業振興計画・後期アクションプラン

中間検証の結果報告

および

(仮称) 第4次日野市農業振興計画の

策定に向けた提言



日野市農業懇談会

令和5年5月

第3次日野市農業振興計画・後期アクションプラン

検証の結果報告

および

(仮称)第4次日野市農業振興計画策定に向けた提言

はじめに

日野市では、平成25年度に「第3次日野市農業振興計画・アクションプラン みんなでつくろう次世代につなぐ日野の農業」が策定され、令和元年度に「第3次日野市農業振興計画・後期アクションプラン」が策定されました。令和5年度は、これらの計画・アクションプランの最終年度にあたります。

日野市農業懇談会では、令和元年度から令和4年度にかけて、この「第3次日野市農業振興計画・後期アクションプラン」の検証を行ってまいりました。今回の提言は、この検証の結果を報告すると共に、検証の結果を踏まえ「(仮称)第4次日野市農業振興計画」策定に向けた提言とします。

令和5年5月

日野市農業懇談会 会長 籬野 利之

1. 第3次日野市農業振興計画・後期アクションプラン検証の結果報告

日野市農業懇談会では、令和元年度から令和4年度にかけて、この「第3次日野市農業振興計画・後期アクションプラン」の検証を行いました。

「第3次日野市農業振興計画・後期アクションプラン」は、1つの振興目標、3つの振興施策、13のアクションプラン、42の施策内容94項目から成り立っています。各年度末に、主管課である都市農業振興課より実施状況の報告を受け、その都度意見を述べてきました。

以下のとおり、令和元年度から令和4年度の実施状況報告と検証をまとめました。

※参照4~8ページ 第3次日野市農業振興計画・後期アクションプランの実施状況報告一覧

振興目標 みんなでつくろう 次世代につなぐ日野の農業

振興施策 1. 永続的に農業経営ができる強い日野農業の確立(アクションプラン 5 39項目)

達成/実施	○	25
一部達成/一部実施	△	11
未達成/未実施	×	2
該当なし	-	1

振興施策2. 安全・安心な農産物づくりと地産地消の推進(アクションプラン 4 31項目)

達成/実施	○	24
一部達成/一部実施	△	4
未達成/未実施	×	3
該当なし	-	0

振興施策3. 次世代につなぐコミュニティ農業の確立 (アクションプラン 4 24項目)

達成/実施	○	17
一部達成/一部実施	△	7
未達成/未実施	×	0
該当なし	-	0

施策総合計（アクションプラン 13 94 項目）

達成/実施	○	66	70%
一部達成/一部実施	△	22	23%
未達成/未実施	×	5	5%
該当なし	-	1	1%

未達成/未実施

- ・農業者の理解促進のための運用要領作成 **新規項目**
- ・用水路の環境学習(小中学校での出前講座等) [現状] 6校 ⇒ [目標] 10校 **拡充項目**
- ・学校給食契約栽培品目 供給農家との拡大品目検討 **新規項目**
- ・剪定枝チップ、落葉等の堆肥化 **継続項目**
- ・日野農業応援団(日野グリーンさぼーたーず)登録者への特典付与 **新規項目**

該当なし

- ・大規模災害時の国等支援策の活用 **継続項目**

令和元年度から令和4年度の都市農業振興課の報告を総合した結果、達成/実施または一部達成/一部実施された項目 88 項目で全体の 94%、未達成/未実施の項目は 5 項目で全体の 5%であり、概ね達成できていると評価します。未達成/未実施であったり、拡充の必要がある下記の項目について意見をまとめました。以下の 3 項目について懇談会の意見とします。

1. 農地の多面的利用について

- ・防災協力農地について、土地所有者との協定の締結を進める。
- ・防災兼用井戸について、市民へ周知し、防災訓練等での活用の機会を増やす。

2. 生産緑地(特定生産緑地)の貸借の支援について

- ・貸借の制度を広く周知し、丁寧なマッチングを進める。
- ・十分に活用されていない農地の活用方法を検討する。

3. 女性農業者の支援について

女性農業者や女性農業者団体への支援を継続的に行い、様々な場面で女性が活躍できる機会を増やす。

第3次日野市農業振興計画・後期アクションプランの実施状況報告（令和元年度～令和4年度）

新 新たに実施
 拡 前期の事業内容・手法
 強 前期の事業内容・手法を
 継 前期の事業内容・手法

施策の内容と具体的な実施事項	令和元年～令和4年度 ○達成/実施 △一部達成/一部実施 ×未達成/未実施
1. 永続的に農業経営ができる強い日野農業の確立	
(1) 都市農地の多面的機能を活かし農地を守るまちづくりを進めよう	
①農地の多面的機能(防災・環境・教育)への理解促進	
ア) 防災協力農地看板設置及び周知 [現状] 3か所 ⇒ [目標] 18か所	拡 充 △
イ) 農業体験イベント(親子栽培塾、料理教室等)の開催 [現状] 年間31回 ⇒ [目標] 年間40回 (セツ塚ファーマーズセンター)	拡 充 △
ウ) 市公式ホームページ、広報ひの農業特集号(6/15号)、マスメディア及びSNS等を活用した幅広い情報発信	強 化 ○
②特定生産緑地への移行推進(2022年問題にむけて) (注1)下段に用語説明	
ア) 制度の周知と移行誘導(個別訪問等) [現状] 平成30年度特定生産緑地受付 121人/464人(26%) 29.7ha/111.27ha(26%)	強 化 ○
イ) 生産緑地(特定生産緑地含む)を示す表示板の設置(計画含む) [対象] 615筆	新 規 △
③生産緑地(特定生産緑地)の貸借の支援	
ア) 都市農地貸借円滑化法の周知	強 化 ○
イ) 農業経営の拡大を目指す意欲ある農業者と貸したい農業者とのマッチング	継 続 ○
ウ) マッチングを図るための農地情報のデータベース化	新 規 △
④農地を残す土地区画整理事業の推進	
ア) 区画整理事業区域内の点在農地の集約化	継 続 ○
イ) 区画整理事業用地の一時的な学校給食供給用農地としての利用拡充 [現状] 8,927㎡ ⇒ [目標] 15,000㎡	拡 充 △
⑤防災協力農地の拡大	
ア) 農業者の理解促進のための運用要領作成	新 規 ×
イ) 防災協力農地の創出 [現状] 3か所 ⇒ [目標] 18か所	拡 充 △
⑥防災兼用農業用井戸の設置支援	
ア) 防災兼用農業用井戸の設置拡大 [整備実績] 平成29年度 5か所 [整備予定(目標)] 令和元年度5か所、令和2年度4か所、令和3年度4か所 : 合計18か所	拡 充 ○
イ) 地域における防災訓練 [現状] 1か所 ⇒ [目標] 18か所	新 規 △
⑦都市農業推進のための国・都への要望活動	
ア) 全国市長会及び都市農地保全推進自治体協議会等を通じた要望活動の実施 [要望項目] ①農業用施設等に相続税納税猶予制度の適用 ②自治体が農地を買い取る場合の財政支援 ③就農希望者や農地を拡大したい農業者への財政支援策	継 続 ○

⑧都市農業シンポジウムで農業への理解を深めよう		
ア) 都市農業シンポジウムの開催 [実績(令和元年度)] 第16回 テーマ「都市農業の新時代に向けて ～若手農業者のコミュニティ～」	継続	○
(2) 日野の貴重な財産である水田・用水を市民と農業者で守っていこう		
①日野産米の活用		
ア) 黒米等の栽培支援及び販路開拓支援 [現状] 栽培農家:1軒 ⇒ [目標] 3軒	新規	△
イ) 学校給食における積極的な日野産米の更なる活用 [現状]1,349kg ⇒ [目標] 1,500kg	拡充	△
②水田の農業体験イベント		
ア) 小学校での農業体験授業の拡充 [現状] 農業体験授業 13校 ⇒ [目標] 17校(全校展開)	拡充	○
イ) 中央公民館での「田んぼの学校」の充実(用水の座学)	拡充	○
③市民ボランティアによる水田の保全		
ア) 「NPO法人日野人・援農の会」による援農ボランティア活動継続及び要望農家の支援拡充	拡充	○
イ) 市民活動団体や地域コミュニティ等による取組みに対する支援	新規	○
④用水の維持管理を地域や市民で行おう		
ア) 用水守及び「NPO法人日野人・援農の会」による用水維持管理 [実績]清掃回数4回/年(日野用水1回、豊田・堀之内用水2回、上田用水1回) [目標]用水守410人⇒450人、援農ボランティア40人⇒60人	強化	○
イ) 用水路の環境学習(小中学校での出前講座等) [現状] 6校 ⇒ [目標] 10校	拡充	×
(3) 魅力ある農業経営により日野の農業を元気いっぱいにならう		
①農業者が開設する農業体験農園の整備推進 [現状] 4園 ⇒ [目標] 6園		
ア) 農業経営の安定化、拡大を図るための個別訪問による開設誘導	新規	○
イ) 開設及び運営支援 ・ 農業体験農園事業補助金(開設・運営補助金)	継続	○
②認定農業者の拡大・支援		
ア) 個別ヒアリング [現状] 50名 ⇒ [目標] 60名	拡充	○
イ) 市補助金の上限拡大	継続	○
ウ) 公的補助金の優遇、低利の融資制度、農業経営関連及び簿記講習会の無料受講、 農業者年金の保険料助成	継続	○
③経営改善に意欲的に取組む農業者への営農施設等整備支援		
ア) 農業者のニーズの把握及び情報提供(個別ヒアリング)	新規	○
イ) 農作業の効率化や労働力削減及び新しい栽培技術導入に対する施設整備	強化	○
④獣害対策支援		
ア) 箱わな等購入及び捕獲動物処分	継続	○
⑤台風等被害状況の早期把握		
ア) 関係機関と連携した被害状況の早期把握	新規	○
イ) 大規模災害時の国等支援策の活用	継続	—
(4) 農・商・工・観光及び産・学・官・民・金の連携		
①連携ネットワークの充実・発展		
ア) 日野産農産物活用店舗の把握及び拡大	新規	○
イ) 市公式ホームページ及び広報ひの農業特集号(6/15号)、マスメディア及びSNS等を活用した幅広い情報発信	強化	○
②農業と福祉が連携した事業の支援		
ア) 農業と福祉が連携した事業の創出・拡大 [現状] 3件 ⇒ [目標] 8件	拡充	△
(5) 日野の農産物の付加価値向上		
①日野ブランド構築と地域連携型6次産業化商品開発支援		
ア) 日野産農産物を活用した加工品の開発支援 [現状] 「PREMIUM TOYODABEER」他20品目 ⇒ [目標] 30品目	拡充	△
イ) 日野市ゆかりの農産物の種の保存(東光寺大根、平山陸稻等)	新規	○

施策の内容と具体的な実施事項

令和元年～令和4年度
 ○達成/実施
 △一部達成/一部実施
 ×未達成/未実施

2. 安全・安心な農産物づくりと地産地消の推進

(6) 学校給食に日野農産物をもっと利用しよう(目標利用率25%以上)

①供給用農地拡大・支援

ア) 区画整理事業用地の一時的な学校給食供給用農地としての利用拡充
 [現状] 8,927㎡ ⇒ [目標] 15,000㎡

拡充

○

イ) 都市農地賃借円滑化法を活用した、学校給食供給用農地の拡大

新規

○

②供給農家の拡大支援

ア) 契約栽培品目等奨励金

継続

○

イ) 供給用備品等購入補助

継続

△

ウ) 援農ボランティアの優先派遣

継続

○

エ) 学校給食供給事業への参加誘導(個別訪問)

新規

○

オ) 運搬支援事業 [現在] 7校

継続

○

カ) 新たな運搬支援事業 [目標] 25校(全校展開)

新規

△

③契約栽培の品目拡大(8品目⇒10品目)

ア) 供給農家との拡大品目検討

新規

×

イ) 学校栄養職員との意見交換とニーズ把握

新規

○

④学校給食コーディネーターによる供給率拡大

ア) 安定した供給量と品質維持(出荷調整会議:毎月末に開催)

継続

○

イ) 消費量とニーズ品目の情報共有

新規

○

ウ) 作付け調整会議(供給農家、学校栄養職員、学校給食コーディネーター)
 [目標] 年2回

新規

△

(7) 環境にやさしい農業の推進

①環境保全型農業の推進

ア) 東京都エコ農産物認証農家の拡大
 [目標]東京都エコ農産物認証制度認証取得農家 15軒 ⇒ 20軒

拡充

○

イ) 市補助金の上限拡大

拡充

○

ウ) 消費者に対する理解促進

強化

○

②落ち葉・剪定枝チップ等を利用した循環型農業の推進

ア) 剪定枝チップ、落葉等の堆肥化

継続

×

(8) 地産地消を推進しよう

①消費者と生産者を結び付ける顔の見える農業の推進

ア) 即売会(市役所1階、産業まつり、暮れの即売会等) [現状] 6ヵ所 ⇒ [目標]10ヵ所

拡充

○

イ) 販売店等における生産者紹介パネル等の掲示 [目標] パネル展示3ヵ所

新規

○

ウ) 女性農業の会「みちくさ会」の日野産野菜料理教室 [現状] 1回 ⇒ [目標] 3回

拡充

△

エ) 女性農業者の会「みちくさ会」の日野産野菜レシピ活用による消費拡大

拡充

○

②日野産農産物等のPRの場を充実させよう

ア) 「セツ塚ファーマーズセンター」や「みなみの恵み」で行う「農」のイベント
 [現状] 31回 ⇒ [目標] 40回 (セツ塚ファーマーズセンター)

拡充

○

イ) 駅周辺や公共施設等でのPR活動、マスメディア及びSNS等を活用した幅広い情報発信と
 産業まつりにおけるPR活動の充実

強化

○

③日野産農産物の利用に取組んでいる店舗の発掘・推進・PR

ア) 販路拡大に向けた日野産農産物の栽培一覧作成

新規

○

イ) 商業者と農業者のマッチング創出(相談窓口設置)

新規

○

④日野農業応援団(日野グリーンさぼーたーず)を活用し、日野の農業を応援しよう

ア) 登録者の拡大とSNS等による最新情報の発信

強化

○

イ) 登録者への特典付与(日野産農産物購入)

新規

×

(9) 第3期日野市食育推進計画(平成29年~令和3年)の推進		
①食育の推進		
ア) 学校給食における日野産農産物の更なる活用	拡 充	○
イ) 農業体験農園や民営市民農園の利用促進	拡 充	○
ウ) 日野産農産物等を販売する直売所の情報発信(マスメディア及びSNS等、情報発信の方法を充実)	強 化	○
エ) 食育イベントの推進(セツ塚ファーマーズセンター等)	拡 充	○

施策の内容と具体的な実施事項

令和元年～令和4年度
○達成/実施
△一部達成/一部実施
×未達成/未実施

3. 次世代につなぐコミュニティ農業の確立

(10) 農業の担い手を育てていこう

① 農業後継者・Uターン就農者・新規就農者の支援

ア) 各種研修制度の紹介及び斡旋	継続	○
イ) 新規就農希望者の情報収集	新規	○
ウ) 宮農支援（施設整備、農業用機械導入等）	新規	○
エ) 生産緑地（特定生産緑地）貸借の支援	新規	○
オ) 顔の見える関係づくり（コミュニティ形成）	新規	○

② 女性農業者の経営参画の推進及び起業創出

ア) 「家族経営協定経営体」の拡大 [現状] 4件 ⇒ [目標] 8件	拡充	△
イ) 女性農業者の起業・創業支援（創業相談窓口、起業スクール、PlanTビジネスセミナー）	新規	○
ウ) 女性農業者の会「みちくさ会」の活動支援（会員増、加工品開発・製造等）	強化	○

(11) 援農で支える日野の農業の推進

① 農の学校の持続可能な運営

ア) 援農ボランティア数拡大のための運営改善（募集、PR等）	新規	△
--------------------------------	----	---

② 緊急・繁忙期における援農体制

ア) 「NPO法人日野人・援農の会」による特別援農班、野菜栽培塾の開催	継続	○
イ) JAIによる営農支援事業	継続	○

(12) 農作業を体験することができる環境の整備と市民交流

① 農業者が開設する農業体験農園の整備推進 [現状] 4園 ⇒ [目標] 6園

△

② 市民農園の整備（市営・民営）

ア) 都市農地貸借円滑化法を活用した市営市民農園の整備 [宅地化農地での開設から生産緑地（特定生産緑地）での開設への移行]	強化	○
イ) 民営市民農園の開設 [現状] 3園 ⇒ [目標] 6園	拡充	△

③ 学童農園での農業体験 [現状] 学童農園数 13校 ⇒ [目標] 17校（全校展開）

ア) 農業体験カリキュラムの充実	拡充	○
イ) 候補地及び指導者（農業者）の選定支援	拡充	○

④ 食農体験事業

ア) 「七ツ塚ファーマーズセンター」及び「みなみの恵み」での食農体験事業（親子栽培塾、料理教室等） [現状] 年間31回 ⇒ [目標] 年間40回（七ツ塚ファーマーズセンター）	拡充	△
---------------------------------------------------------------------------------------------	----	---

(13) 日野の農業の発信拠点「七ツ塚ファーマーズセンター」から日野の農業を発信しよう

① みのり^{どころ}（日野農産物販売所）

ア) 店頭での新鮮な日野産農産物販売と定食の提供	拡充	○
イ) 出張販売による新鮮な日野産農産物の販売	拡充	○
ウ) 市内飲食店への新鮮な日野産農産物の提供 [現状] 19店舗 ⇒ [目標] 30店舗	拡充	△
エ) 加工品開発に向けた事業者とのマッチング	拡充	○

② 発信事業

ア) 日野産農産物を活用した各種講座 [現状] 31回 ⇒ [目標] 40回	拡充	△
イ) 交流農園を活用した農業体験	拡充	○

③ 農業・化学肥料や堆肥使用など農業への理解を深めよう

ア) JAIによる各種講習会（春の土づくり講習会・農のなんでも講習会） [現状] 2回	継続	○
---------------------------------------------	----	---

2. (仮称)第4次日野市農業振興計画策定に向けた提言

「1. 第3次日野市農業振興計画・後期アクションプラン検証の結果報告」を踏まえ、特に次期計画において取り上げて欲しい、また、実現に向けて期待する5項目について以下のとおり提言します。

1. 生産緑地の貸借と担い手（新規就農者）への支援

第3次農業振興計画へも後期アクションプラン策定の際に追加されましたが、平成30年度に施行された「都市農地の貸借の円滑化に関する法律（円滑化法）」による農地貸借の支援については、特に規模拡大を目指す農業者や農外からの新規就農者への支援を次期計画でも継続・拡充を望みます。今後も農業者の高齢化が進む中、農地を貸したい・借りたい農業者が増えていくと予想されます。行政、農業委員会と農協が農業者に寄り添い、きめ細かく貸借を支援することで、農業者の高齢化による農地の遊休化防止にも役立ち、ひいては農地の減少も抑えることになると考えます。

2. 環境に配慮した農業への支援

気候変動や生物多様性の低下等、食料システムをとりまく環境が変化する中、令和4年に「みどりの食料システム法」が制定され、生産から消費まで環境負荷の低減に資する取組が求められています。また、世界情勢の変化により飼肥料をはじめとする農業生産資材が高騰し、輸入資源に頼っていた農業から持続可能な農業への転換も迫られています。

最初の段階として、第3次農業振興計画において東京都エコ農産物認証農家数が目標値を達成されたことを評価します。有機農業への転換は困難もありますが、次の段階として、現実に即し段階的なレベルアップを目指し、継続・拡充を望みます。また、そうした動きを市民に周知し、理解を促進していく必要もあると考えます。最後に、畜産農家から出る家畜ふん堆肥等を有機質資材として市内に循環活用できるような耕畜連携システムを新たに検討するよう提案します。

3. DX 技術の活用・普及やスマート農業等新技術導入等の支援

第3次農業振興計画においても、認定農業者や経営改善に意欲的に取り組む農業者への営農施設等整備支援について、きめ細かいヒアリングを行い補助事業を実施しているとの報告を受けております。次期計画においては、既存の技術に加え、生産性を高めるためICTやIoT、AIを取り入れた新技術の導入等、スマート農業の実践に向け、補助事業の制度等を周知し、継続・拡充していくことを要望します。

4. 情報発信や活用で地産地消のさらなる推進

第3次農業振興計画においても日野市ホームページ上での庭先販売・直売所マップの掲載やSNSでの情報発信を進めているとの報告を受けていますが、次期計画では、直売所がより魅力的で利用しやすいものとなるように、直売所同士が連携できる仕組みや新しい技術を取り入れた流通の仕組みの導入・普及を図って欲しいと考えます。また、新しいライフスタイルや多様化するニーズに合わせ、子育て世代から高齢者まで、幅広い世代が地産地消に興味をもって参加できる農業体験事業や食育事業を検討願います。

5. 女性農業者の活躍への支援

第3次農業振興計画においても、地産地消の推進のなかで女性農業者の会「みちくさ会」への支援が実施されていますが、次期計画においても女性農業者（みちくさ会、認定農業者や認定新規就農者等）の活動支援を継続していくと共に、今後、農業経営に携わる女性が増えていくよう、女性がより働きやすい具体的な施策(※)の展開を期待します。

※例：出産や育児への支援（東京都農業振興プラン 25 ページ ）

おわりに

日野市農業懇談会では、平成25年(2013年)に「第2次日野市農業振興計画・後期アクションプラン中間検証の結果報告および第3次日野市農業振興計画の策定に向けた提言」をしました。

その内容は **1. 水田の保全、2. NPO法人や市民団体と連携した体験農園の推進、3. 都市農地保全・援農制度の充実について、4. 学童農園等へ農業者が指導する際の仕組みづくり、5. 日野産農産物の6次産業化の推進**の5項目についてです。その後10年の月日を経て、水田を含む農地面積は減少しましたが、生産緑地の貸借を可能にした「円滑化法」により全国で初めてとなる生産緑地の貸借による新規就農者が日野市に誕生し、若手農業者の団体も発足しました。体験農園は、10年間で1農園(1,506 m²)が増えました。援農ボランティア養成講座「農の学校」は令和5年度で19期目に入り、援農ボランティアとして活躍する方は年間100名以上となり、近年は若い世代や女性も増えています。食育事業の一環として、農業体験授業を小学校全17校に実施することができました。農業の6次産業化については、平成27年に「豊田ビール」の復刻、平成30年に日野産大麦100%を使った「プレミアム豊田ビール」を限定販売、直近では、明星大学学生がアイデアを出し姉妹都市岩手県紫波町産のもち米と日野市産のさつま芋を使った「まん福」を市内和菓子店で販売する等、取組が進んでいるとの報告を受けております。私たちは、今回の提言が、継続性を持ちつつ、より積極的で、尚且つ市民参加型の新しい農業施策の推進につながり、日野の農地・農業が守られていくことを願っています。

第 8 期

日 野 市 農 業 懇 談 会 委 員 名 簿

(任期 :2021 年 5 月 18 日～2024 年 5 月 17 日)

No.	氏名	条例上の 表記	備考 (役職等)
1	はたの 篠野 としゆき 利之	農業者 3人	市内農業者 (日野市農業団体連合会 会長)
2	あがわ 阿川 さとし 暁史		市内農業者 (日野市農業団体連合会 副会長)
3	ひじかた 土方 きょうこ 京子		市内農業者 (みちくさ会)
4	いわざわ 岩沢 ひろし 宏	日野市農業 委員会委員 2人	日野市農業委員会 会長
5	かねこ 金子 みねお 峰男		日野市農業委員会 会長職務代理
6	きくち 菊池 ゆたか 豊	その他行政 機関の代表 2人	東京都南多摩農業改良普及センター所長
7	のせ 野瀬 ともとし 友利		東京都農業振興事務所 農務課長
8	みやさか 宮坂 ゆきひと 幸仁	農業協同組 合の代表 2人	東京南農業協同組合 日野支店支店長
9	ひじかた 土方 ゆうじ 勇二		東京南農業協同組合 七生支店支店長
10	さいとう 齊藤 えりこ 江利子	市民公募	市民公募者
11	ほあし 帆足 ちえこ 千栄子	市民公募	市民公募者
12	みやざわ 宮澤 かずみ 和美	市民公募	市民公募者

※ 敬称略。委員については順不同

第3次日野市農業振興計画・後期アクションプラン
中間検証の結果報告
および
（仮称）第4次日野市農業振興計画の策定に向けた提言

日野市農業懇談会
令和5年5月